**別表1**（第4）**日常の火災予防の担当者と日常の注意事項**

|  |  |
| --- | --- |
| 防火管理者職・氏名 |  |
| 防火担当責任者 | 火元責任者 |
| 担当区域 | 氏　　名 | 担当区域 | 氏　　名 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 担当者の任務 |
| 防火管理者 | ・当該施設の防火管理業務の統括責任者・防火担当責任者と火元責任者に対し指導監督を行う。 |
| 防火担当責任者 | ・担当区域の火災予防について責任を持つとともに、火元責任者に対し指導監督を行う。・防火管理者の補佐を行う。 |
| 火元責任者 | ・担当区域の火災予防について、「自主検査チェック表」などに基づきチェックし、防火管理者に報告する。 |
| 従業員等の注意事項 |
| 　１　消火器、屋内消火栓設備などが設置してある場所や階段、通路、出入口などの周辺には物品を置かないこと。　２　防火戸の付近には、閉鎖の障害となる物品を置かないこと。　３　火気設備器具の周辺は、きちんと整理整頓して、燃えるものを接して置かないこと。　４　休憩室、事務室などから最後に出る人は、必ず火の始末をすること。　５　従業員、職員等の喫煙は、指定された場所で行い、必ず吸い殻入れを用いて喫煙すること。　６　死角となる廊下、階段室、トイレなどに燃えるものを置かないこと。　７　危険物品等を使用するときは、防火管理者の承認を得ること。　８　異常事態が発生したときは、必ず防火管理者に報告すること。　９　喫煙場所などの吸い殻入れ、通路のごみ入れを確認するほか、吸い殻は不燃性の蓋付き水入れ容器に入れるなどして処分すること。１０　建物内外の整理整頓を行い、ごみや段ボール箱など燃えやすいものは、決められた時間以外は、外に出さないこと。１１　電気、ガスなどの火気設備器具のスイッチを切り、各室の安全を確かめた後に施錠すること。１２　火元責任者は、担当区域の火気の状況を、責任を持って管理すること。１３　その他 |

**別表2**（第4）**自主検査チェック表（日常）「火気関係」**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 実施責任者 |  | 実施年月 |  |
| 日 | 曜日 | 実　　施　　項　　目 |
| 吸い殻の処理 | 終業時の火気の確認 | 電源の遮断の確認 | 倉庫等の施錠の確認 | 火気設備器具の異常の確認 | 電気器具の配線劣化・損傷 | その他（共有部分の可燃物の有無等） |
| 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 2 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 3 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 4 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 5 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 6 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 7 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 8 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 9 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 10 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 11 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 12 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 13 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 14 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 15 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 16 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 17 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 18 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 19 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 20 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 21 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 22 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 23 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 24 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 25 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 26 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 27 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 28 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 29 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 30 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 31 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （備考）不備欠陥がある場合は、直ちに防火管理者に報告します。（凡例）〇…良、×…不備・欠陥、△…即時改修 | 防火管理者確　認 |  |

**別表3**（第4）**自主検査チェック表（日常）「閉鎖障害等」**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 実施責任者 |  | 担当範囲 |  |
| 実　施　日　時 | 　／　、　　時 | 　／　、　　時 | 　／　、　　時 | 　／　、　　時 |
| 実施項目 | 確認箇所 | チェック状況 | チェック状況 | チェック状況 | チェック状況 |
| 避難障害 | 避難口 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 廊　下避難通路 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 階　段 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 閉鎖障害 | 防火戸、防火シャッター |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 操作障害 | 屋内消火栓設備 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 自動火災報知設備 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 備　　　　考 |  |  |  |  |
| （備考）不備欠陥がある場合は、直ちに防火管理者に報告します。（凡例）〇…良、×…不備・欠陥、△…即時改修 | 防火管理者確　認 |  |

**別表4**（第4）**自主検査チェック表（定期）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施項目 | 確認箇所 | 検査結果 |
| 建物構造 | （1）基礎部 | ・上部の構造体に影響を及ぼす沈下・傾き・ひび割れ・欠損等がないか。 |  |
| （2）柱・はり・壁・床 | ・コンクリートに欠損・ひび割れ・脱落・風化等はないか。 |  |
| （3）天井 | ・仕上材にはく落・落下のおそれのあるたるみ・ひび割れ等はないか。 |  |
| （4）窓枠・サッシ・ガラス | ・窓枠・サッシ等には、ガラス等の落下又は枠自体の外れのおそれのある腐食、緩み、著しい変形等はないか。 |  |
| （5）外壁（貼石、タイル、モルタル、塗壁等）、ひさし・パラペット | ・貼石・タイル・モルタル等の仕上材に、はく落、落下のおそれのあるひび割れ・浮き上がり等が生じてないか。 |  |
| （6）屋外階段 | ・各構成部材及びその結合部に、緩み・ひび割れ・腐食・劣化等はないか。 |  |
| （7）手すり | ・支柱が破損・腐食していないか。取付部に緩み・浮きがないか。 |  |
| （8）消防隊非常用進入口 | ・表示されているか。また、進入障害はないか。 |  |
| 防火施設 | （1）外壁の構造及び開口部等 | ①外壁の構造等に損傷はないか。②外壁の近く及び防火戸の内外に防火上支障となる可燃物の堆積及び避難の障害となる物品等を置いていないか。③防火戸は円滑に開閉できるか。 |  |
| （2）防火区画 | ①防火区画を構成する壁、天井に破損がないか。②階段内に配管、ダクト、電気配線等が貫通していないか。③自動閉鎖装置（ドアチェック等）付の防火戸等のくぐり戸が最後まで閉まるか。④防火シャッターの降下スイッチを作動させ、防火シャッターが最後まで降下するか。⑤防火戸・防火シャッターが閉鎖した状態で、隙間が生じていないか。⑥防火ダンパーの作動状況は良いか。 |  |
| 避難施設 | （1）廊下・階段 | ①有効幅員が確保されているか。②避難上支障となる設備・機器等の障害物を設置していないか。 |  |
| （2）階段 | ①手すりの取付部の緩みと手すり部分の破損がないか。②階段室の内装は不燃材料になっているか。③階段室に設備・機器等の障害物を設置していないか。④非常照明がバッテリーで点灯するか。 |  |
| （3）避難階の避難口（出入口） | ①扉の開放方向は避難上支障ないか。②避難扉の錠は内部から容易に開けられるか。③避難階段等に通ずる出入口の幅は適切か。④避難階段等に通ずる出入口・屋外への出入口の付近に障害物はないか。 |  |
| 火気設備器具 | （1）厨房設備（大型レンジ、フライヤー等）、ガスコンロ、湯沸器 | ①可燃物品からの保有距離は適正か。②異常燃焼時に安全装置は適正に機能するか。③ガス配管は亀裂、老化、損傷していないか。④油脂分を発生する器具の天蓋やグリスフィルターは清掃されているか。⑤排気ダクトの排気能力は適正か。また、ダクトは清掃されているか。⑥燃焼器具の周辺部に炭化しているところはないか。 |  |
| （2）ガスストーブ・石油ストーブ | ①自動消火装置は適正に機能するか。②火気周囲は整理整頓されているか。 |  |
| 電気設備 | （1）変電設備 | ①電気主任技術者等の資格を有する者が検査を行っているか。②変電設備の周囲に可燃物を置いていないか。③変電設備に異音、過熱はないか。 |  |
| （2）電気器具 | ①タコ足の接続を行ってないか。②許容電流の範囲内で電気器具を適正に使用しているか。 |  |
| 危険物施設 | （1）少量危険物貯蔵取扱所 | ①標識は掲げられているか。②掲示板（類別、数量等）には、正しく記載されているか。③換気設備は適正に機能しているか。④容器の転倒、落下防止措置はあるか。⑤整理清掃状況は適正か。⑥危険物の漏れ、あふれ、飛散はないか。⑦屋内タンク、地下タンクの場合に、通期管のメッシュに亀裂等はないか。 |  |
| （2）指定可燃物貯蔵取扱所 | ①標識は掲げられているか。②貯蔵取扱所周囲に火気はないか。③整理整頓（集積）の状況は良いか。 |  |
| 検査実施者氏名 | 検査実施日 | 検査実施者氏名 | 検査実施日 | 防火管理者確認 |
| 建築構造　　　　　　防火施設　　　　　　避難施設　　　　　　 | 年　　月　　日年　　月　　日年　　月　　日 | 火気設備器具　　　　　　電気設備　　　　　　　　危険物施設　　　　　　　 | 年　　月　　日年　　月　　日年　　月　　日 |  |

（備考）不備欠陥がある場合は、直ちに防火管理者に報告します。

（凡例）〇…良、×…不備・欠陥、△…即時改修

**別表5**（第4）**消防用設備等・特殊消防用設備等自主点検チェック表**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実　施　設　備 | 確　認　箇　所 | 点検結果 |
| 消火設備 | 　消火器（　　　　年　月　日実施） | （1）設置場所に置いてあるか。（2）消火薬剤の漏れ、変形、損傷、腐食等がないか。（3）安全栓が外れていないか。安全栓の封が脱落していないか。（4）ホースに変形、損傷、劣化等がなく、内部に詰まりがないか。（5）圧力計の指示範囲内にあるか。 |  |
| 　屋内消火栓設備（　　　　年　月　日実施） | （1）使用上の障害となる物品はないか。（2）消火栓扉は確実に開閉できるか。（3）ホース、ノズルが接続され、変形、損傷はないか。（4）表示灯は点灯しているか。 |  |
| 　スプリンクラー設備（　　　　年　月　日実施） | （1）散水の障害はないか。（例）物品の集積など（2）間仕切り、棚等の新設による未警戒部分はないか。（3）送水口の変形及び操作障害はないか。（4）スプリンクラーヘッドに漏れ、変形はないか。（5）制御弁は閉鎖されていないか。 |  |
| 　動力消防ポンプ（　　　　年　月　日実施） | （1）常置場所の周囲に、使用の障害となるような物がないか。（2）車台、ボディ等に割れ、曲がり及びボルトの緩みがないか。（3）管そう、ノズル、ストレーナー等に変形、損傷がないか。 |  |
| 警報設備 | 　自動火災報知設備（　　　　年　月　日実施） | （1）表示灯は点灯しているか。（2）受信機のスイッチは、ベル停止となっていないか。（3）用途変更、間仕切り変更による未警戒部分がないか。（4）感知器の破損、変形、脱落はないか。 |  |
| 　非常ベル（　　　　年　月　日実施） | （1）表示灯は点灯しているか。（2）操作上の障害となる物がないか。（3）押しボタンの保護板に破損、変形、損傷、脱落等がないか。 |  |
| 　放送設備（　　　　年　月　日実施） | （1）電源監視用の電源電圧計の指示は適正か、電源監視用の表示灯が正常に点灯しているか。（2）放送設備により放送ができるかどうか。 |  |
| 避難設備 | 　避難器具（　　　　年　月　日実施） | （1）避難に際し、容易に接近できるか。（2）格納場所の付近に物品等が置かれ、避難器具の所在が分かりにくくなっていないか。（3）開口部付近に、書棚、展示台等が置かれ、開口部を塞いでいないか。（4）降下する際に障害となるものがなく、必用な広さが確保されているか。（5）標識に変形、脱落、汚損がないか。 |  |
| 　誘導灯（　　　　年　月　日実施） | （1）改装等により、設置位置が不適正になっていないか。（2）誘導灯の周囲には、間仕切り、衝立、ロッカー等があって、視認障害となっていないか。（3）外箱及び表示面は、変形、損傷、脱落、汚損等がなく、かつ、適正な取り付け状態であるか。（4）不点灯、ちらつき等がないか。 |  |
| 検査実施者氏名 |  | 防火管理者確認 |  |

（備考）不備欠陥がある場合は、直ちに防火管理者に報告します。

（凡例）〇…良、×…不備・欠陥、△…即時改修

**別表6**（第4）**消防用設備等・特殊消防用設備等≪法定点検≫計画表**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 　　　　　　　　　　　　　点検の区分消防用設備等の種類 | 機器点検 | 総合点検 |
| 　消火器 | 　　月、　　月 |  |
| 　屋内消火栓設備 | 　　月、　　月 | 　　月 |
| 　スプリンクラー設備 | 　　月、　　月 | 　　月 |
| 　動力消防ポンプ | 　　月、　　月 | 　　月 |
| 　自動火災報知設備 | 　　月、　　月 | 　　月 |
| 　非常ベル | 　　月、　　月 | 　　月 |
| 　放送設備 | 　　月、　　月 | 　　月 |
| 　避難器具 | 　　月、　　月 | 　　月 |
| 　誘導灯 | 　　月、　　月 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 点検設備業者住所電話番号 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |

**別表7**（第6）**自衛消防隊の編成と任務**

　　　　年　　月　　日現在

|  |  |
| --- | --- |
| 編　　成 | 主な任務 |
| 自衛消防隊長 | 〇〇　〇〇 | 自衛消防隊に対する指揮、命令、監督等を行う。 |
| 自衛消防副隊長 | 〇〇　〇〇 | 隊長を補佐し、隊長不在の場合は、その任務を代行する。 |
| 通報連絡担当 | （〇階）〇〇　〇〇（〇階）〇〇　〇〇（〇階）〇〇　〇〇 | １　消防機関への通報並びに情報の収集２　館内への非常放送並びに災害現場への誘導３　関係者への連絡 |
| 初期消火担当 | （〇階）〇〇　〇〇（〇階）〇〇　〇〇（〇階）〇〇　〇〇 | １　出火場所への急行２　消火器等による初期消火 |
| 避難誘導担当 | （〇階）〇〇　〇〇（〇階）〇〇　〇〇（〇階）〇〇　〇〇 | １　出火時における避難者の誘導２　非常口の開放並びに開放の確認３　逃げ遅れた者の確認４　避難上障害となる物品の除去 |
| 安全防護担当 | （〇階）〇〇　〇〇（〇階）〇〇　〇〇（〇階）〇〇　〇〇 | １　火災発生地区へ直行し、防火シャッター等の操作２　電気、ガス等の安全措置３　エレベーター等の非常時の措置 |
| 救護担当 | （〇階）〇〇　〇〇（〇階）〇〇　〇〇（〇階）〇〇　〇〇 | １　負傷者に対する応急措置２　救急隊との連携、情報提供 |

**別表8**（第1）**防火管理業務の一部委託状況表**

　　　　年　　月　　日現在

|  |  |
| --- | --- |
| 防火対象物名称 |  |
| 管理権原者職氏名 |  |
| 防火管理者職氏名 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　印 |
| 受託者の氏名及び住所等（法人にあっては名称及び主たる事務所の所在地） |
| 氏名（名称）住所（所在地）電話番号 |  |
| 受託者の行う防火管理業務の範囲及び方法 | 常駐方式 | 範囲 | * 火気使用箇所の点検監視業務
* 避難又は防火上必要な構造及び設備の維持管理
* 火災が発生した場合の初動措置

□初期消火、□通報連絡、□避難誘導、□その他（　　　　　　　　　）* 周囲の可燃物の管理
* その他（　　　　　　　　　　　　）
 |
| 方法 | 常駐場所常駐人員委託する防火対象物の区域委託する時間帯 |  |
| 巡回方式 | 範囲 | * 巡回による火気使用箇所の点検等監視業務
* 火災が発生した場所の初動措置

□初期消火、□通報連絡、□その他（　　　　　　　　　）* その他（　　　　　　　　　　　　　）
 |
| 方法 | 巡回回数巡回人員委託する防火対象物の区域委託する時間帯 |  |
| 遠隔移報方式 | 範囲 | * 火災異常の遠隔監視及び現場確認業務
* 火災が発生した場所の初動措置

□初期消火、□通報連絡、□その他（　　　　　　　　　）* その他（　　　　　　　　　　　　　）
 |
| 方法 | 現場確認要員の待機場所到着所要時間委託する防火対象物の区域委託する時間帯 |  |

（備考）受託者の行う防火管理業務の範囲については、該当する項目の□にㇾ印を付すること。